

トピックス

TOKYOマヨカラ! inしごとセンター 公開録画で若者トーク!	1
〔若者のものづくり〕	
その1 ものづくり体験塾「浴衣・スカートの製作」	2
その2 職人塾「日本調理」～現場実習で親方の技を学ぶ～	3
「東京都中小企業両立支援推進助成金」の助成企業を募集	4～5
東京都中小企業従業員融資制度のご案内	5
〔取材レポート〕東京都障害者職域開拓支援事業認定事業者 障害者雇用支援企業がノウハウを集結して「たい焼き屋」事業を立ち上げ!	6
職業能力開発センター、労働相談情報センターのセミナー	7
東京しごとセンターのセミナー	8



TOKYOマヨカラ! inしごとセンター 公開録画で若者トーク!

東京都提供番組



テレビ東京毎週木曜深夜
2時～2時15分放映中



東京しごとセンター（千代田区飯田橋）の講堂に特設会場を設置して収録が行われました。



ハリガネロックの絶妙な司会と、就職支援アドバイザーの井野口さんの的確なアドバイスで話がグッと弾みました。



メンバー同士で面接者と面接官になり、舞台上で模擬面接を実施。具体的な質問で、答えるに窮する場面も?!

11月5日（月）、「東京都若者しごと応援月間」事業の一環として、東京都提供番組「TOKYOマヨカラ!」の公開録画が行われました。この番組は、毎週テーマを変えて、若者が自分達のことを本音で語り合う番組で、会場では「自分にあった仕事って何?」をテーマに、司会のハリガネロック（吉本興業）の2人とレギュラーメンバー8名とのトークが繰り広げられました。

まず最初に「今、就いている仕事が自分に合っていると思うか?」という話から始まり、メンバー2人が東京しごとセンター多摩で「職業適性診断」を受けた様子を紹介。診断結果につ

いて、東京しごとセンター多摩の就職支援アドバイザー井野口秀子さんから解説を受けました。続いて東京しごとセンターで実施している「就コム!」の様子が紹介され、その中で行われている模擬面接を実際にステージの上で行いました。面接の受け応えだけでなくお辞儀をする時や話している時の手の位置など、細かな注意点についても、井野口さんからアドバイス。収録を観に来た多くの若者達の参考になったのではないかと思います。

この公開録画の様子は、11月15日（木）と22日（木）の深夜2時よりテレビ東京で放映されました。

若者のものづくり その 1

中央・城北職業能力開発センター有明分校

ものづくり体験塾「和装・洋装を体験しよう」 ～若者が浴衣とスカート製作に挑戦!企業見学とカウンセリングも実施～

東京都では今年度より若者のものづくり離れの現状を打開するために「ものづくり体験塾」を開催しています。内容は、ものづくりを体験するだけでなく、関連企業の見学とグループカウンセリングもセットになっているのが特徴で、9月～12月の期間に都内8つの職業能力開発センター及び校で実施。その中から10月16日(火)～19日(金)の4日間、中央・城北職業能力開発センター有明分校(江東区有明)で行われた「ゆかたとスカートの製作」の様子をご紹介します。

浴衣(ゆかた)、スカート製作を通じて、 ものづくりの楽しさ、厳しさを学ぼう!

この体験塾では、二手に分かれて浴衣とスカートを3日間で製作し、4日目には関連する企業見学と、グループカウンセリングを行いました。浴衣製作には5名、スカート製作には4名の若者が参加し、全くの初心者でも製作できるように、職業能力開発センターの指導員が分かりやすく丁寧に指導。まず始めに、なぜその作業が必要なのかの理由説明があり、時おり参加者への質問を交えながら進められました。また、少人数なので製作途中で分からないことがあれば気軽に質問ができ、参加した若者9名は指導員の話に聞き入り、真剣な眼差しで製作に取り組んでいました。

〔浴衣づくり〕

～ほど良い緊張感に包まれ、手縫いと格闘～

浴衣製作の部では、まず初日に手縫いの練習から始まりました。布を上下に動かしながら縫う方法に慣れない様子も見られましたが、指導員は一人ひとり進み具合を見ながら、傍らに寄り添って縫い方の注意点などアドバイスを行っていきました。指導員が、浴衣の布を足の指に挟み、固定しながら縫う方法を実演してみせると、参加者から笑い声も起きましたが、中には果敢に挑戦する若者の姿も見られました。



指導員の先生の手元を見つめ、皆真剣な表情です。

〔スカート製作〕

～工業用機械を使用して本格的なスカート作り～

スカートの初日は、まずCADを使っての型紙作りから始まりました。スカートの生地や糸は、自分のイメージに合わせて、それぞれ好きなものを選んでいきます。その際も指導員から「もしどの糸を使うか迷ったら濃い目の色を選んで下さい。」などと具体的な指示が出されます。「スカート製作は段取りが半分、縫い始めたら早いです。」の言葉通り、ミシンで縫い始めるまでの準備を入念に行います。生地の緩み、縮みを直すため、工業用のアイロンを使っての“地直し”を丁寧に行うなど、下準備をしっかりと行っていました。



型紙を合わせて、使用する生地を手で裂いていきます。

〔若者たちの声〕

～ものづくりに高い関心が!～

この体験塾に参加した若者に話を聞くと、「ものづくりに興味があって参加した。初めてスカートを作り、難しいけれどもおもしろい。」「ものづくりが好きなので、できればこの関連業種で就職したい。」などの声がありました。



TOKYO MX テレビのカメラ取材も行われました。

〔若年者対象〕「ものづくり体験塾」～鉄道模型の自動制御回路～参加者募集

12月実施分の募集

今年度最後の「ものづくり体験塾」です。

対象 おおむね29歳以下の方

定員 各10名(無料)

時間 おおむね9時～16時半

内容 (1) ガイダンス (2) ものづくり体験
(3) 企業見学会 (4) グループカウンセリング

日程・会場

鉄道模型の自動制御回路

12月6日(木)～7日(金)

多摩職業能力開発センター府中校

府中市南町4-37-2

お申込みは、下記へ直接来所か電話で予約してください。

〔申込先〕

多摩職業能力開発センター

立川市羽衣町3-29-26

☎042-522-6151



〔ものづくり体験〕
電子制御回路の組立

【問い合わせ先】産業労働局能力開発課

☎03-5320-4719

若者のものづくり

その2

職人と若者を「親方」と「弟子」でマッチング 職人塾「日本調理」～現場実習で親方の技を学ぶ～

17年度より若者にもものづくりの実習を行い、技能の継承や後継者育成、若者に関連業種への就業の契機にすることを目的とした「職人塾」が行われています。今年度は8月から10月の期間に、洋裁、和裁、印章、日本調理、貴金属装身具、家具製作、造園工事、本染手拭の業種で20名の若者がそれぞれ親方のもとで約1ヶ月間の弟子入りをしました。その中から「日本調理」の実習に参加した親方と若者にお話を伺いました。

この「日本調理」コースの親方は、「現代の名工」として厚生労働大臣から表彰を受けた日本料理人の第一人者で、皇居と日比谷公園の緑を見渡すことができる日本料理店の総料理長を務めています。その親方のもとへ弟子入りしたのは、社会人経験はあるものの調理関係の仕事は未経験である20代の女性。料理が好きで日本の食文化に興味があるということで、このコースを希望したそうです。

実習は、その日本料理店の厨房で行われ、白衣を着た姿はまさに板前のお弟子さんそのもの。週休2日で11時～20時までの実習を20日間行いますが、まず1日中立ったまま仕事をすることが非常にきつく、最初の3日間は貧血になりそうだったそうです。親方によると「新人はまず立ち仕事に慣れることからです。大体の人が1週間で足がパンパンになりますね。」とのこと。仕事を始める前に、体力がないと勤まらない仕事だということがわかります。

そして、実習内容は包丁を使うことから始まり、焼き物

や煮物などひと通りのことについて親方の手ほどきを受けられます。お店にお客様が入ると厨房はものすごく忙しくなり、実習どころではなくなりますが、時間がある時にはお新香を切ったり、賄い用の天ぷらを揚げたそうです。弟子入りした女性は「アルバイトなどで慣れていないので包丁を持った後、手が震えてしまったそうです。最初は切るだけの作業がずっと続くと思うのですが、職人塾なのでひと通りのことを教えてもらえて、貴重な経験です。」と話します。さらに「上下関係がハッキリしている厳しい世界なので、自分が新人として入ったらどれだけ怒られるのだろうかと思うし、2～3年前から働いている若い先輩のようになれるのだろうかとも思います。」と話すと、親方が「なれますよ。毎日の積み重ねが大事だし、基本を覚えれば板前でなくても色々な料理の道が広がります。」と答えてくれました。



慣れていないので包丁を持った後、手が震えてしまったそうです。

地域に親しまれ、ものづくりの楽しさを体験！ 職業能力開発センター等で 「技能祭」を実施！

11月の「職業能力開発促進月間」にあわせて、都内15ヶ所の職業能力開発センター及び校などで、「技能祭」が開催されました。各会場ごとに特色ある様々な催し物が行われ、特に11月3日には10ヶ所のセンター及び校等で実施されました。

城東職業能力開発センター足立校（足立区綾瀬）では、建築塗装の実演やエアブラシで木箱にデザイン塗装する体験教室など様々なメニューを実施。多くの参加者がものづくりを楽しんでいました。また、苗木の配布や地元商店街・町会による焼きそばの模擬店など、地域の方々による出し物も数多く出展。地域の方々に親しまれ、地域に愛されていることが伝わってくる技能祭でした。

【足立校の技能祭】



小箱の製作教室



足立区立第十一中学校吹奏楽部の演奏がお祭り気分を盛り上げていました。

しごとセンター、しごとセンター多摩で同時開催！ 「職業能力開発センターフェア」のお知らせ

職業能力開発センターにはどのような科目があるのか、どのような知識・技能が身につくのかを、広く都民の皆さんに知っていただくため「職業能力開発センターフェア」を開催します。パネルや作品の展示の他に個別相談コーナーも設置し、今年は飯田橋と国分寺のしごとセンター2ヶ所で開催します。入退場は自由です。多くの方のご参加をお待ちしています。



昨年のフェアの様子

日時 12月12日（水）10時～16時半
場所

東京しごとセンター 4階403教室

千代田区飯田橋3-10-3

国分寺労政会館（東京しごとセンター多摩）

第3会議室 国分寺市南町3-22-10

東京都労働相談情報センター 国分寺事務所3階

内容 各職業能力開発センター・校の案内

パネル展示・作品展示及び販売・個別相談

【問い合わせ先】産業労働局能力開発課

☎03-5320-4716

～東京都労働資料センターの利用案内～

東京都労働資料センターは、労働に関する図書・資料の閲覧及び貸出業務を行っています。ぜひご利用ください。

【利用時間】月～金：9：00～17：00

【休業日】土・日・祝・休日、年末年始（12/29～1/3）
毎月15日（休業日と重なる場合は直後の平日）

〒102-0072

千代田区飯田橋3-10-3

東京しごとセンター9階

（東京都労働相談情報センターに併設）

電話：03-5215-5857

FAX：03-5211-3270



～事業主の皆様へ～ 仕事と家庭の両立にやさしい企業を応援!

「東京都中小企業両立支援推進助成金」の助成企業を募集

～両立支援の責任者設置と意識啓発に係る経費を助成します～

東京都では、都内に本社がある従業員数300名以下の中小企業向けに、仕事と子育てなど家庭生活の両立を支援する「東京都中小企業両立支援推進助成金」の助成企業を募集しています。「とうきょう次世代育成サポート企業」に登録後、今年度は両立支援推進責任者の設置と社内の意識啓発に係る経費を助成。それに加えて来年度以降は社内のルールづくりと育児休業取得者の代替要員についての経費を助成します。ここでは、助成金の仕組みについてご紹介します。

「東京都中小企業両立支援推進助成金」の仕組み

まず
とうきょう次世代育成
サポート企業
にご登録ください。

「とうきょう次世代育成サポート企業」とは?

東京労働局(国)へ一般事業主行動計画を届出

一般事業主行動計画とは?

企業が、社員の職業生活と家庭生活との両立に向けた雇用環境の整備や、多様な労働条件の整備などの取組を行うために、「計画期間」「目標」「目標達成のための対策とその実施時期」が含まれている計画のこと



東京都へ策定届と行動計画本文を提出して
登録申請

仕事と家庭の両立への取組に積極的な会社として登録し、東京都のホームページなどでその取組内容などを掲載し、広く紹介していきます。

サポート企業の一覧は「TOKYOはたらくネット」をご覧ください。 <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/>

STEP1
両立支援推進責任者の設置
定額40万円

社内で責任者を選任して、両立支援の取組開始

人事労務担当の管理職相当職の方などを1名選任し届出します。届出日はSTEP2以下の助成対象期間のスタートとなります。

STEP2
社内の意識啓発等
助成率1/2、上限10万円

従業員研修で職場の意識を啓発

管理職及び従業員への研修経費、両立支援の周知活動の経費など、意識啓発に係る経費を助成します。

平成19年度は試行としてSTEP1とSTEP2の助成のみを実施します。

STEP3
社内のルールづくり
助成率1/2、上限50万円

ルールづくりの話し合いや就業規則の整備等

社内ルールの策定や、就業規則への記載・届出に係るコンサルタント経費等を助成します。

平成20～24年度

STEP4
育児休業取得者の代替要員
助成率1/2、上限1人あたり150万円

育休代替要員の雇用や派遣社員の導入を支援

1社につき、育児休業取得者3人まで助成します。ただし、国(21世紀職業財団)助成金との併給はできません。

責任者設置から2年以内

責任者設置から3年以内

平成20年度からはSTEP1～STEP4までの全ての助成を実施します。

予算の範囲を超えた場合は、募集期間内であっても、受付終了としますので、ご了承ください。

お申し込み・お問い合わせは、 労働相談情報センターへ

「とうきょう次世代育成サポート企業」の登録から「東京都中小企業両立支援推進助成金」については、本社所在地を担当地域とする下記の労働相談情報センター（6ヶ所）へ、お申し込み及びお問合せください。

窓口	所在地	連絡先	担当区域
飯田橋	〒102-0072 千代田区飯田橋3-10-3 東京しごとセンター9F	TEL:03-5211-2200 FAX:03-5211-3270	千代田区、中央区、 新宿区、渋谷区、 中野区、杉並区、島しょ
大崎	〒141-0032 品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎 ウエストタワー2F	TEL:03-3495-4915 FAX:03-3495-4916	港区、品川区、 目黒区、大田区、 世田谷区
池袋	〒170-0013 豊島区東池袋 4-23-9	TEL:03-5954-6501 FAX:03-5954-6502	文京区、豊島区、 北区、荒川区、 板橋区、練馬区
亀戸	〒136-0071 江東区亀戸2-19-1 カメラプラザ7F	TEL:03-3682-6321 FAX:03-3684-6026	台東区、墨田区、 江東区、足立区、 葛飾区、江戸川区
国分寺	〒185-0021 国分寺市南町3-22-10	TEL:042-323-8511 FAX:042-323-8512	立川市、武蔵野市、 三鷹市、青梅市、昭島市、 小金井市、小平市、 東村山市、国分寺市、 国立市、福生市、東大和市、 清瀬市、東久留米市、 武蔵村山市、 羽村市、あきる野市、 西東京市、西多摩郡
八王子	〒192-0046 八王子市明神町3-5-1	TEL:042-643-0278 FAX:042-645-7185	八王子市、府中市、 調布市、町田市、 日野市、狛江市、 多摩市、稲城市

下記HPで詳細がご覧になれます。

<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/soudan-c/center/support02.html>

八都県市ワークライフバランス推進フォーラム ～「時間制約」を前提とした働き方へ見直しを～

10月29日（月）13時半からアルカディア市ヶ谷（千代田区）で「八都県市ワークライフバランス推進フォーラム」が開催されました。これは、首都圏の八都県市が10月に実施した「仕事と家庭生活の調和（ワークライフバランス）推進キャンペーン」の取組の一環として行われたもので、約180名が参加しました。

基調講演では『ワークライフバランス実現のために「時間制約」による働き方の革新を』と題して、東京大学社会科学研究所教授の佐藤博樹氏が講演。「『時間制約』を前提とした働き方を実現するためには職場の管理職のマネジメントが重要」と話されました。続く企業事例報告会では、ワークライフバランスに取り組む3社の事例を報告。「育児を語る社員育成を目指して」をスローガンに男性社員の育児休業取得を推進するピジョン㈱、14年前から社内に学童保育を設け、社員の子育てとあわせて地域貢献に取り組んでいる大里綜合管理㈱、そして夫婦とも管理職として働きながら育児に取り組む発表者ご自身の体験を報告した㈱有隣堂、と様々な視点での取組が発表されました。



事例報告会の様子
〔コーディネーター〕
読売新聞 生活情報部記者
榎原 智子氏
〔コメンテーター〕
富士通総研 主任研究員
渡美 由喜氏

「街頭労働相談」実施 働く人・雇う人に 役立つ情報も提供

東京都では、毎年5月と10月を「労働相談強調月間」としており、10月に街頭で臨時的労働相談を行いました。会場は目黒、渋谷、新宿、昭島、赤羽、仙川の6カ所の駅前等と城東地域中小企業振興センター（葛飾区青戸）で、のべ7千人を超える来場者がありました。相談件数は230件で、「就職が決まらない」「労働契約の一方的変更」「改正雇用保険法について」「賃金の不払」など、様々な相談が寄せられました。今回は「仕事と家庭生活の調和」推進キャン

ペーンを同時に行い、両立支援を専門とする両立支援アドバイザーによる相談も実施。事業主や企業の人事労務担当者が両立支援の取組の進め方などを相談する姿も見られました。

また、労働関係の各種資料と共に、東京都中小企業両立支援推進助成金など両立支援に関するパンフレット等も配布しました。



新宿駅西口会場では、仕事からの帰宅時間に合わせて19時まで実施しました。

中小企業で働く方へ生活資金を融資します！ ～東京都中小企業従業員融資制度のご案内～

東京都では、都内に在勤又は在住の中小企業従業員の方に生活資金を低利で融資しています。

申込条件 次の条件をすべて満たす方

都内に在住・在勤の中小企業従業員

現在の勤務先に6か月（育児・介護は1年）以上勤務し、同一住所に3ヶ月以上居住

年収が800万円以下
都民税、住民税を既に納付されている方
借入金の用途が生活の安定のためであって、返済能力のある方

【問い合わせ先】産業労働局労働環境課
☎03-5320-4652
中央労働金庫
☎0120-86-6956

一般生活資金「さわやか」
融資限度額：70万円以内 特例で100万円以内
医療費 教育費 冠婚葬祭費 住宅の増改築費
年利：2.0%

育児・介護休業者生活資金「すくすく」「ささえ」
融資限度額：100万円以内
育児休業取得期間が3ヶ月以下の場合50万円以内
年利：1.8%

融資にあたっては審査があります。詳細は、HP TOKYOはたらくネットをご覧ください。
<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/fukuri/index.html>

【取材レポート】19年度第1期認定事業者 (株)福祉ベンチャーパートナーズ 障害者雇用支援企業がノウハウを集結して 「たい焼き屋」事業を立ち上げ!

障害者雇用支援に積極的に取り組み、福祉企業家経営塾等を開催している株式会社福祉ベンチャーパートナーズが、9月29日にたい焼き屋さんをオープンしました。今回は、創業や異業種進出等により障害者の雇用拡大を図るモデル事業(東京都障害者職域開拓支援事業)に認定されており、会社としても新たな業種で事業を立ち上げた「夢ある街のたい焼き屋さん西調布店」を紹介します。

おいしそうな香りに誘われて…

京王線西調布駅から徒歩約7分、品川街道沿いのひときわ明るい店舗が「夢ある街のたい焼き屋さん 西調布店」です。まず目に飛び込んできたのは、窓ガラスの向こうで次々と焼き上げられる熱々のたい焼きとニコニコしながら作業に励むスタッフ達。おいしそうな香りと元気なスタッフで一杯のお店に、絶えることなくお客さんが吸い込まれていました。



ガラス張りのお店では、たい焼きを焼き上げる姿や小豆を炊く姿が見られます

店内は明るく和気あいあいとした雰囲気

店内の第一印象はその明るい雰囲気。「あずきに砂糖を入れます!」、「つぶあんたい焼き、焼き上がりました!」といった威勢の良い声が響き、てきぱきと作業をこなすスタッフ達の元気で溢れていました。障害者と健常者が、分け隔て無く自然と働いている点も印象的でした。「スタッフは、障害者雇用のサポートでは無く、あくまで『たい焼きの製造・販売業務』ということで募集しました。」と話すのは、(株)福祉ベンチャーパートナーズ代表取締役の大塚由紀子さん。全員がたい焼き作り初心者で、ゼロから共に研修を積んで来たことも手伝って、同じ立場のスタッフとして働く一体感が感じられました。



~障害者のためではなく、お客様のためのお店~

大塚さんは、「障害者のできるビジネスをやるのではなく、まず事業が成り立つことを考え、その中に彼らの職域を作っていく。障害者のための事業ではなく、地域の皆様のための事業。」とおっしゃっていました。「『地域で開業し地域の皆さんを相手にビジネスを営んでいく、地域の人々は毎日の生活の中で普通にそのお店を利用する、たまたまそこで働いているのは障害者だった』こうした自然な流れを通して障害者雇用を地域の中に

創出していきたい。」というお話も伺い、障害者を雇用する上でのポイントとして、福祉から経営の視点へ、そして「地域」というキーワードが浮かび上がってきました。

働く人もお客さんも幸せな気持ちになれるお店

障害を持つスタッフからは、「仕事が楽しいから通勤も苦にならない。」「コミュニケーションを取るのが苦手だが、ここで働き始めて会話を楽しめるようになった。普段の生活でも明るくなった。」といった声も聞かれました。学校帰りに「また後で来るね!」と店に立ち寄る小学生、窓越しでたい焼きを焼く姿に見入る子供たち。そこで働く人にとっても、地域の人々にとっても愛されるお店。障害者雇用の望ましいそして自然な姿を、このたい焼き屋さんは実践しようとしている、そんな印象を受けました。



目指すは「世界一おいしいたい焼きと世界一の笑顔でお客さんを迎えるお店」!

「夢ある街のたい焼き屋さん」の夢は…

「地域の中で、人も味も認められる存在になって、将来的には障害の有る無しに関係なく、リーダーになれる位の人材を育てたい。」と話すのは店長の川合澄枝さん。スタッフも「仕込みや焼き方を極めたい。」「もっと売り上げを高められるように頑張りたい。」と意気込んでいました。「夢ある街のたい焼き屋さん」の夢は膨らむばかりです。



本日のスタッフ全員でこれからもおいしいたい焼きを作り続けて下さいね!

「夢ある街のたい焼き屋さん 西調布店」

調布市下石原3-31-1

☎042-439-6136

営業時間は11時~19時 月曜定休(祝日は営業)

株式会社福祉ベンチャーパートナーズ

千代田区神田町2-2-5 T&Hビル4階

☎03-3253-0294

HP <http://www.fvp.co.jp>

障害者雇用の新たな風！ カフェ「Fika Fika」 3店舗目の阿佐ヶ谷店がオープン！

「Fika Fika」阿佐ヶ谷店

杉並区阿佐谷南1丁目15番1号 杉並区役所1階
☎03-3311-1064

【営業時間】9時～17時

HP (株)ワールドビジネスサポート

<http://www.world-business-support.co.jp/>

本誌9月号でご紹介したカフェ「Fika Fika」が、井草店と永福町店に引き続き3店舗目となる阿佐ヶ谷店を杉並区役所1階にオープン。他の2店舗と同様に、杉並区が障害者訓練の場として運営していた喫茶店「てんとう虫」を継承して10月19日(金)に開店しました。阿佐ヶ谷店でも5名の訓練生をメンバーとして雇用し、スタート。接客を担当する障害者のメンバーは、少し緊張した様子で最初のお客様をお迎えしていました。



オープニングレセプションに駆けつけた杉並区の山田宏区長とメンバーの皆さん

職業訓練指導員試験のお知らせ

職業訓練指導員免許の取得資格を得るための「職業訓練指導員試験」を行います。

東京都職業訓練指導員の採用試験ではありません。

試験科目 理容科、美容科、指導方法(実技と学科試験免除の方対象)

受験資格 実務経験8年以上(短縮条件あり)

試験日時 学科試験:20年1月19日(土)

実技試験:〔理容科〕20年1月21日(月)

〔美容科〕20年1月22日(火)

申込日時 12月13日(木)・14日(金)

10時～12時、13時～16時

東京都庁第二本庁舎1階 臨時窓口にて受付

詳細は、HP TOKYOはたらくネット

<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/> をご覧ください。

【問い合わせ先】産業労働局職業能力開発課

☎03-5320-4717

〔中高年対象〕

「ワークチャンスフェア2007in立川」の開催

12月5日(水)に中高年対象「ワークチャンスフェア2007in立川」をザ・クレストホテル立川3階(立川市錦町1-12-1)で開催します。

合同面接会(予約不要・入退場自由):13時～16時

立川市内及び近隣の求人を中心に、複数企業の採用担当者と面接ができます。履歴書を複数枚ご持参の上、ご参加ください。

〔求人職種〕事務、販売、営業等 〔参加企業〕約25社程度(予定)

求職者向けセミナー(要予約):12時半～14時半

〔内容〕団塊の世代のためのライフプラン講座〔定員〕50名

事業者向けセミナー(要予約):14時半～16時半

〔内容〕高齢者雇用を対象とした各種助成金を紹介〔定員〕50名

申込 立川商工会議所無料職業紹介所

☎042-522-4611(月～金:10時～16時)

《主催》東京しごとセンター・東京しごとセンター多摩、立川市、ハローワーク立川、立川労働基準監督署、多摩職業能力開発センター、労働相談情報センター国分寺事務所、立川商工会議所、多摩信用金庫

【問い合わせ先】東京しごとセンター地域連携担当係 ☎03-5211-2317

職業能力開発センターの募集

職業能力開発センター等非常勤講師の募集

内容 自動車整備工学、自動車塗装、グラフィック印刷、防災設備、介護、調理、栄養、公衆衛生、木工、電気、冷凍機器、ボイラー、造園、建築物衛生管理、機械、帳票作成、物流管理、広告美術、OAソフト管理、コンピュータ、ビル管理、その他職業訓練指導

資格 科目関連の指導員免許をお持ちか同程度に知識経験の豊富な方 資格等が必要な科目あり

選考日 12月中旬 人数 40名程度

選考方法 面接・能力実証等

採用 20年1月1日以降

申込 12月7日までに所定の申込書兼履歴書(各センター等か

HPで入手)を各センター等へ持参

勤務地 各センター等のうち該当する所

詳細はHP TOKYOはたらくネット

http://www.hataraku.metro.tokyo.jp をご覧ください。

【問い合わせ先】産業労働局調整課 ☎03-5320-4702

〔在職者向け〕キャリアアップ講習

職業能力開発センターのキャリアアップ講習12月受付分 現在働いている方を対象に夜間や休日に実施する仕事に役立つ短期講習

講習 介護福祉士受験対策(実技)【府中校】

PowerPoint【城南】、財務会計【板橋校】

ExcelVBA【中央・城北】等 全27コース

費用 授業料1,600円～6,500円 ほかには教科書を各自購入

往復はがきは12月8日(消印有効)

FAX は12月10日までに必要事項を書き直接実施校へ

インターネットは12月10日までに下記HPから申込み

講習内容・日程・実施校の詳細は、

HP <http://www.hataraku.metro.tokyo.jp>か

FAX 情報サービス 03-3820-1200(BOX番号12345)にて

【問い合わせ先】産業労働局能力開発課 ☎03-5320-4719

労働相談情報センターの労働セミナー

日時	セミナー名	講師	場所	定員	申込み先・問い合わせ先
12月4日(火) 5日(水)	労働時間法制を正しく理解し 適正に管理する!	弁護士 小川 英郎氏	労働相談情報 センター池袋 3階セミナー室	100名	労働相談 情報センター 池袋 03-5954-6505
1月16日(水) 18日(金)・22日(火) 23日(水)・25日(金)	労働法セミナー 吉祥寺教室2008	上智大学 教授 森戸 英幸氏	武蔵野公会堂	100名	労働相談 情報センター 国分寺 042-323-8511
12月7日(金) 10日(月)	しっかり対応!労働安全衛生法 ～労働時間とメンタルヘルス～	成蹊大学 准教授 原 昌登氏ほか	調布市市民プラザ あくろす3階 あくろすホール	100名	労働相談 情報センター 八王子 042-643-0278

セミナーの募集は、全て申込み先着順です。定員に達した場合は、申込み受付を終了いたしますので、あらかじめご了承ください。

TOKYOはたらくネット(<http://www.hataraku.metro.tokyo.jp/>)からも申込みができます。

〔求職者向け〕東京しごとセンターのセミナー・講習



東京しごとセンターHPから一部のセミナーの申込みが可能です。HP <http://www.tokyoshigoto.jp/>

会場は東京しごとセンター：千代田区飯田橋3-10-3(一部を除く)

申込み・問い合わせ先：ヤングコーナー ☎03-5211-2851

対象者	セミナー名	内 容	日 時	定員	
全年齢	「若者就活応援イベント 就魂(しゅうたま)2007! ～人事×若者＝『本気話(マジバナ)!!』」	就活中の方もこれから就活を始める方も元気が出るイベントです! 面接に向かうことに不安を感じたり、躊躇するのは自信の無さが一因。挫折を乗り越えた就活の先輩たちや、企業の人事担当者の「本気話(マジバナ)」を聞きながら、特別ではない、その人らしさを打ち出す就活術をお伝えします。	12月8日(土) 13時～15時半	100名	
34歳以下	「就コム!～仲間と一緒に就活を進めよう!」	少人数のクラス制で、クラスの仲間と担任のアドバイザーと一緒に、就活のためのスキルを身に付け内定をGETしましょう!	12月17日(月)～2月7日(木) (月・木)全12回	13時～16時	14名
	「就活倶楽部 ～就職のための基礎力を養おう!～」	就活の必須要素を4日間でマスターできます。 1日目「就活start upセミナー」 2日目「自己分析～自分の魅力・強みを把握しよう」 3日目「人事が喜ぶ応募書類作成講座」 4日目「知って得する面接トーク&マナー」	12月11日(火)～14日(金)	13時～16時	15名
	自己分析実践バック	2日間の連続講座。自己分析を徹底的に行います。自己PRを書き上げること目標にします。	12月11日(火)～12日(水)	16時半～19時半	22名
	面接特訓バック	2日間の連続講座。面接のマナーから模擬面接まで徹底的に行います。繰り返し練習しましょう。	12月13日(木)～14日(金)	16時半～19時半	22名
	ジョブパーティ	1部のセミナーで企業選びのポイントを学んだ後、2部で実際に企業の担当者と直接会えます。自社の紹介を聞いたり、直接質問をしたりと、面接ではない和やかな雰囲気イベントです。気軽な気持ちでご参加ください。	12月21日(金)	13時～18時	50名
	「就職基礎能力速成講座」 ～厚生労働省「YESプログラム」認定講座～ 高校、大学等の学生は対象になりません。 申込締切:11月28日(水)まで	6日間連続でビジネスマナーや職場におけるコミュニケーション能力など、就職のための基礎的能力を体系的に一貫した形で習得する講座です。グループワークやロールプレイングを数多く活用した受講者参加型の講座です。実践に即したカリキュラムはビジネスや就活の場面で大いに役立ちます。	12月10日(月)～14日(金)	9時半～16時半	30名
企業の人事・採用担当者	「中小企業の“人選び、人育て” ～若者に魅力ある企業への提言～」	若者にとって、自分を「育て、認め、責任ある仕事を任せてくれる」魅力ある企業のつくり方を紹介します。	12月21日(金)	13時～14時半	50名

申込み・問い合わせ先：総合相談係 ☎03-5211-1571

対象者	セミナー名	内 容	日 時	定員
全年齢女性	自分を引き立たせる色探し! ～就職活動に役立つカラーコーディネート術～	採否決定に大きく影響すると言われる面接時の第一印象をいかに良くするか?あなたが元来持っている魅力や意欲をどのように「外見」に表すか?経験豊かな講師の話にあなたもきっと納得するでしょう! 満1歳から就学前の幼児に無料託児あり(12月11日までに要予約)	12月21日(金) 13時～14時半	50名
30歳～54歳	求職活動支援セミナー ～応募チャンスが確実に増える～ 「求人情報の探し方と応募ポイント」	就職は応募ありき、応募先をいかに効果的に探せるかが重要です。各求人情報の特徴とチェックポイントを知り、自分自身にとって効果的な求人情報の探し方と、応募のポイントを学びます。求人検索から応募・面接・内定までの活動効果を高める、就職進捗管理方法を学びます。	12月19日(水) 13時半～15時半	100名

郵送申込みまたはその他のセミナー

対象者	セミナー名	内 容	日 時	定員	申込み先・問い合わせ先	
55歳～64歳	「エキスパート人材開発プログラム」 ～専門スキルを活かして中小企業で働きたい方を募集～ 対象:ひとつの専門分野で概ね10年以上の経験を持ち、中小企業で当該専門スキルを活かす意欲のある方	専門スキルをお持ちの方が中小企業で専門分野を効果的に発揮するために必要な知識を学び、スムーズな再就職を応援します。中小企業の経営戦略・中小企業理解・中小企業の財務、人事、営業戦略・中小企業の人材育成などを学ぶプログラムです。	2月12日(火)～28日(木) 全13日間	10時～16時	25名	12月25日(火)郵送の場合は必着 東京しごとセンターHPエントリー画面 又は、郵送で所定のエントリーシートを提出 東京しごと財団協働事業担当係 〒102-0072千代田区飯田橋3-10-3 (問い合わせ先) 協働事業担当係03-5211-2325
55歳以上	高齢者のための就職支援講習 対象:講習終了後、関連企業で働きたい方	IT製品検証スタッフ 対象:パソコン操作ができる方 調理業務アシスタント	1月7日(月)～30日(水) (全16日間) 1月22日(火)～31日(木) (全7日間)	10時～16時	20名 30名	12月10日(月)消印有効 往復はがきに講習名・住所・氏名(フリガナ)・生年月日・電話番号を書き、郵送 東京しごと財団能力開発係 〒102-0072千代田区飯田橋3-10-3 (問い合わせ先) 能力開発係03-5211-2327

〔求職者向け〕東京しごとセンター多摩のセミナー

会場は東京しごとセンター多摩：国分寺市南町3-22-10東京都労働相談情報センター国分寺事務所内

申込み・問い合わせ先：東京しごとセンター多摩 ☎042-329-4524

対象者	セミナー名	内 容	日 時	定員
34歳以下	就活セミナー 「ベーシック&アドバンス」	1日目:就活ベーシック:就活の進め方や自分の隠れた経験や長所の探し方から、応募書類の作成のポイント。 2日目:就活アドバンス:採用担当者の選考ポイントや面接でのマナーなど。 1日だけのご参加、両日のご参加、どちらでも結構です。	12月11日(火)・13日(木)	10時～16時 30名
30～54歳	1日で学べる再就職活動のテクニック	就職活動を進めていく上での課題・問題点の整理、自己分析と自分の強み発見、自分に合った求人情報の探し方・売り込み方・採用担当者に評価される応募書類の書き方、自分を上手に表現できる面接の受け方、面接ロールプレイング等、演習を織り交ぜた参加型講習です。	12月19日(水)	13時～17時 50名
中高年	中高年者のための就職面接	お仕事をお探しの中高年の方を対象に就職面接会を開催します。当日は20社程度の企業が参加予定。履歴書を複数枚お持ちのうえ、ご参加ください。ご参加にあたっては、東京しごとセンター多摩の利用登録が必要になります。	12月12日(水)	13時～13時半 参加企業紹介 13時半～16時 面接会
55歳以上	1日で学べる再就職活動のテクニック	高齢者を取り巻く労働市場の現状と人材ニーズの分析、採用担当者に評価される応募書類の書き方、自分を上手に表現できる面接の受け方等、就職活動のノウハウをわかりやすく解説します。	12月26日(水)	13時半～16時半 50名

セミナーの参加にあたり、東京しごとセンター利用登録に未登録の方は、当日東京しごとセンターの利用登録をしていただきます。

オリンピックを東京に、
2016年!

東京都産業労働局
雇用就業部調整課発行

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 電話(5320)4646

2007年(平成19年)11月22日発行 第1223号

昭和22年8月25日創刊

印刷規格表1類 印刷番号(18)59

印刷 株式会社メリット・ケー

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています